

# 祝

## 日野川流域土地改良区 設立50周年記念式典



日時 令和6年12月14日(土) 11時

場所 ホテルニューオウミ おうみ亀



日野川流域土地改良区

記念式典

- 一、開 会
- 一、式 辞
- 一、経過報告
- 一、来賓祝辞
- 一、来賓紹介
- 一、感謝状贈呈
- 一、閉 会

祝 賀 会

- 一、開 会
- 一、乾 杯
- 一、閉 会

◎感謝状受賞者

(敬称略、順不同)

寺島 健一	寺澤 清穂
福本 修一	澤田 満夫
加納 半史郎	松浦 博
赤尾 清子	奥村 健
西村 勲	

以上9名



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

近畿農政局長  
相本 浩志 様

日野川流域土地改良区が設立50周年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

琵琶湖の東部に広がる日野川流域は、歴史書に、お米にまつわる記述が多くあり、古くから農耕適地が多く、それに伴い「水」を生む努力が重ねられてきたとされています。昭和20年代、終戦後の国土復興、食料増産が至上の使命となる中、日野川流域土地改良区の前身となる日野川佐久良川総合開発事業期成同盟会が設立され、昭和30年以降、国営による事業の調査と計画及び全体実施設計が行われ、昭和49年に国営日野川土地改良事業が着工、同年に日野川流域土地改良区が設立されました。日野川流域土地改良区は、受益4市町が組織する日野川用水施設管理協議会とも連携しながら、国県等の事業によって造成された蔵王ダム、頭首工、琵琶湖水源の揚水機場、送水管路及び幹支線用水路などの施設を適切に維持管理されるとともに、蔵王ダム及びため池等の水源と琵琶湖の状況を常に見ながら、地域の水需要に応じて安定的かつ効率的に配水管理を行う極めて重要な役割を担い、半世紀もの長きにわたり約5千haに及ぶ広大な地域の農業の発展を支えてこられました。

歴代理事長をはじめとする役職員の皆様、組合員の皆様のご労苦に心から敬意を表し、深く感謝を申し上げます。この先も日野川流域土地改良区のご尽力により、日野川流域の農業農村が次世代に継承され、更なるご発展をされることを確信しております。

結びに、日野川流域土地改良区が設立50周年を機に、今後一層のご発展をされますとともに、組合員の皆さま方のご健勝でのご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの辞といたします。



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

滋賀県知事  
三日月 大造 様

日野川流域土地改良区が設立50周年の節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。皆様には、日頃から地域農業発展のため土地改良事業の推進に御尽力いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

かつて本地域は、日野川およびその支流の佐久良川にある多数の井堰やため池、琵琶湖の湖辺地域ではクリークや地下水を頼りに農業が営まれていました。その後、昭和49年から平成15年にかけて頭首工や蔵王ダム、琵琶湖からの揚水機場などが整備され、農業用水の安定供給を実現したことから、地域では水稻を基幹として小麦、大豆、野菜等を組み合わせた多様な農作物の生産が可能となりました。貴土地改良区におかれては、農業水利施設の管理が高度化・複雑化する中においても、広範囲に及ぶ施設を適正に維持管理され、地域の農業生産を支えてこられました。これまでの間、役員をはじめ組合員の皆様が御尽力されてきたことに、改めて敬意を表します。

農業・農村をめぐる情勢は刻々と変化し、厳しい状況に置かれています。県においては、世界農業遺産に認定された「琵琶湖と共生する本県農業・水産業」を次世代へ継承するための取組を進めてまいりますので、引き続き、お力添えをお願いいたします。

結びに、日野川流域土地改良区および地域の農業・農村のますますの発展と、関係の皆様のお健勝をお祈り申し上げます。



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

滋賀県土地改良事業団体連合会  
会長 家森 茂樹 様

日野川流域土地改良区が設立50周年を迎えられますこと、心よりお慶び申し上げます。

貴土地改良区は、近江八幡市西部、竜王町、東近江市、日野町に広がる約5千haに及ぶ県下有数の農業地帯を潤すため、早くから国営並びに県営かんがい排水事業を実施され、安定的な農業用水の確保に努めてこられました。

その後、約40年が経過し施設の老朽化が進んでいることから、関係の皆様のご尽力により、国営施設機能保全事業により施設改修を実施され令和4年度に完工されました。これにより本地域の農業生産性が更に高まり、農業競争力の強化が図られることを大いに期待するものであります。

さて、今般、農政の憲法といわれる「食料・農業・農村基本法」が改正されたところでありますが、その柱となる「食料安全保障の抜本的な強化」の実現をはかるためには、その基盤となる農業水利施設の適切な保全管理や土地改良区の運営基盤の確保が一層重要となります。

このような中、西田理事長には、電力料金の急激な高騰に対する支援など土地改良区を取り巻く課題の解決に向け、連合会とともに率先して国や県に対し要望していただき大変感謝しているところであります。

当連合会としましても、引き続き、農業農村整備事業の推進をはじめ、農業水利施設の保全管理や土地改良区の運営基盤の強化など、現場の声を踏まえた取組を進めてまいりますので、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴土地改良区の益々のご発展と組合員の皆様のご多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

日野川流域土地改良区 理事長  
竜王町長 西田 秀治 様

日野川流域土地改良区が設立されてから半世紀が経ちました。この50年という節目を迎えるにあたり、地域の皆様とともに歩んできた歴史を振り返り、当改良区の理事長として深甚なる感謝の意を表したいと思っております。

昭和49年より、農地の生産性向上や水資源の安定供給を目指して設立した日野川流域土地改良区は、多くの課題と向き合いながらも、地域農業の基盤を支えてまいりました。多様な地形や気候条件に対応するための灌漑整備や排水対策、土壌改良事業など、多岐にわたる取り組みを進めてきたことは、ひとえに関係者のご努力と住民皆様のご協力の賜物です。

また、時代とともに変化する社会のニーズに応じて、環境保全や防災の観点を取り入れた活動にも注力してきました。近年では、気候変動による水不足や豪雨災害といった新たな課題にも対応しつつ、地域の安全と持続可能な発展を目指しています。こうした取り組みが、私たちの暮らしや未来の世代にわたる恩恵をもたらしていることは、大きな誇りです。

今日までの50年間、支えてくださった関係機関、地域住民、そして先人の方々に心より感謝申し上げます。これからも持続可能な農業と地域づくりに向けて挑戦を続けてまいりますので、さらなるご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

日野川流域土地改良区の設立50周年を祝い、この記念すべき節目が皆様にとりましても一層の飛躍の契機となりますよう祈念申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

日野川流域土地改良区 副理事長  
東近江市長 小椋 正清 様

この度、日野川流域土地改良区が設立50周年を迎えられましたことに、心からお祝いを申し上げます。

昭和49年10月3日の日野川流域土地改良区の設立から今日までの50年もの長きにわたり、近畿農政局をはじめ、滋賀県、関係土地改良区、農業関係団体及び多くの農業者の皆様方に多大な御尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、本土地改良区では、日野川流域約5千haの農地に農業用水の安定供給を行い農業水利施設の維持管理を通じて地域農業の発展に寄与するとともに、2市2町が掲げる豊かなまちづくりに必要な農業生産基盤の整備を推進しているところであります。

近年、農業水利施設は、年月の経過につれ施設の老朽化に伴う突発的な故障や事故等が発生しており、維持管理費の増大が課題でありました。

これら課題の解決を図るため、農業水利施設の長寿命化対策として、平成25年度から国営事業、また、平成27年度から県営事業に着手し、令和4年度には、国営事業の整備改修が完了し、県営事業についても令和11年度に完了を予定しています。

このことは、日野川地区のみならず当市としましても、施設の機能維持はもとより農家の生産性向上や高収益作物への転換、将来に向けた新たな農業生産の展開にも繋がると確信しています。

結びに、本土地改良区は、今後におきましても施設の適正な維持管理に努め地域農業の更なる発展に一層尽力してまいりますので、引き続き皆様の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

日野川流域土地改良区 副理事長  
近江八幡市長 小西 理 様

日野川流域土地改良区設立50周年、誠にありがとうございます。半世紀という長きにわたり、ご尽力いただいた歴代理事長をはじめ、役職員、組合員の皆様々に心より感謝申し上げます。

日野川流域土地改良区は、昭和49年に4市町に跨る土地改良区として設立されました。当地域は古くから近江の穀倉地帯として農業が盛んな地域でしたが、水源に関して課題を抱えていた地域でもありました。そのような状況を解決するため国営日野川農業水利事業により、ダム、揚水機場、送水管路等が新たに造成され、従来の水源に加えて、琵琶湖からの逆水等を利用する大規模な農業水利システムを構築されました。当事業に携わってこられた先人達の偉業へ多大なる敬意を表する次第です。

さて、これらの施設については関係市町で構成する日野川用水施設管理協議会と日野川流域土地改良区とが連携を図って施設を管理してきたという歴史がございます。昨今の農業を取り巻く環境は大変厳しいものがありますが、引き続き関係市町と土地改良区とが連携を取りながら、適切に維持管理し、地域の農業生産を支える基盤としてその効用を十二分に発揮させていくことが肝要と感じております。当市といたしましても農業を基幹産業として位置付けており、今後とも支援をさせていただき所存でございます。

最後になりましたが、日野川流域土地改良区の益々のご発展と皆様方のご健勝をご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 日野川流域土地改良区

設立50周年記念によせて

日野川流域土地改良区 副理事長

日野町長 堀江 和博 様

この度、日野川流域土地改良区が50周年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。半世紀にわたり、地域の安定的な農業用水の利用を支え続けてこられた皆様の努力と情熱に、深い敬意を表します。

かつての日野町では、基幹産業である農業用水の確保が大きな課題であり、戦後から日野川・佐久良川沿岸の干害が年々厳しくなりました。昭和47年度から始まった琵琶湖総合開発事業の一環として、整備された揚水機場や蔵王ダム等の灌漑施設のお陰で、干害を心配することなく農業用水の確保が実現し、安定的な農業生産を行うことが出来ています。

日野町では、令和3年度に第6次日野町総合計画を策定いたしました。その中で、農業がめざす姿として、多様な農業経営体を育成し特産農産物をはじめとする地域農業の安定と、身近に「農」のある暮らしができる町を掲げています。さらに、基本施策の一つとして、農業の持続的発展を挙げているところです。

先人が知恵をしぼり、この地域に安定的な水源を確保するために整備された施設の数々を、日野川流域土地改良区および関係機関の方々の格別のご高配とご尽力のお陰で維持管理していただいております。日野町が掲げる農業の持続的発展に大いに寄与いただいていることに感謝にたえません。

50周年を契機に、日野川流域土地改良区が地域農業と共に歩み続けることを願い、益々のご発展をお祈り申し上げます。



日野川流域土地改良区の経過

年 度	事 業 等	主 要 項 目	備 考
昭和26年	日野川佐久良川総合開発事業期成同盟会設立 (10月11日)	日野町、西大路、南・北比都佐、東・西桜谷、朝日野、桜川、下田、苗、鏡山、馬淵、桐原、北里の各村	会長 正野 玄三 (日野町長)
	日野川河川改修事業調査 (県土木部)		
昭和28年	日野川中小河川改良事業(防災ダム)着工 (県土木部)		
昭和29年	日野川佐久良川総合開発委員会設立 (5月12日)	日野町、蒲生町、竜王町、近江八幡市	会長 吉田 武雄
	期成同盟会発展解消		
昭和33年	野洲川第2ダムによる日野川流域への送水計画調査 (県農林部)		
昭和34年	三重用水の計画の一環として日野川流域計画調査 (京都農地事務局・県農林部)		
	日野川沿岸土地改良事業期成同盟会設立	日野町、蒲生町、竜王町、近江八幡市、八日市市、野洲町、中主町	
昭和35年	三重用水から日野川を分離・国営調査地区とするよう県へ陳情		
昭和36年	日野川中小河川改良事業終了・引き続き日野川総合開発事業実施 (県土木部)		日野川ダムに農業用水587m <sup>3</sup> を計上
昭和40年	西大路ダムの調査実施 (近畿農政局・県農林部)		
昭和41年	日野川総合開発事業完工(防災ダムなど) (県土木部)	日野川佐久良川総合開発委員会解散 (事業完了により)	

日野川流域土地改良区の経過

年 度	事 業 等	主 要 項 目	備 考
昭和42年	淀川水系農業水利琵琶湖周辺農村調査 (日野町—京大農学部委託)		
昭和43年	日野川地区を国営調査地区へ陳情 日野川・佐久良川沿岸土地改良事業期成同盟 会設立	近江八幡市、竜王町、 蒲生町、日野町	会長 橋田 喜一郎 (日野町長)
昭和44年	国営直轄調査始まる 県も合同して調査		
昭和46年	国営地区計画樹立 日野川沿岸土地改良事業期成同盟会を日野川 流域土地改良推進協議会に改組 (10月20日)		会長 橋田 喜一郎 (日野町長)
昭和47年	国営事業全体実施設計		
昭和49年	国営事業施行申請 (4月25日) 土地改良区設立認可申請 (8月9日) 土地改良区設立認可 (10月3日)	関係市町長(85条 の2第1項)  認可 滋256号	申請人代表 井狩 貞之 他24名 理事長 井狩 貞之 (近江八幡市長)
昭和51年	国営事業所開所、着工 県営事業施行申請 (6月16日)	関係市町長(85条 の2第1項)	
昭和52年	県営事業着工		
昭和53年			理事長 森田 忠藏 (日野町長)
昭和58年	第1段揚水機場送水開始		
平成2年	国営事業、県営事業、維持管理事業計画変更		
平成5年			理事長 安井 一嗣 (蒲生町長)
平成6年	国営事業所閉所、完工		
平成7年	蔵王ダム送水開始		
平成8年	基幹水利施設管理事業開始 (日野川用水施設管理協議会設置)	近江八幡市、蒲生町、 日野町、竜王町	
平成13年			理事長 福島 茂 (竜王町長)
平成14年	県営事業計画変更		

日野川流域土地改良区の経過

年 度	事 業 等	主 要 項 目	備 考
平成15年 平成16年	県営事業完工		理事長 山中 壽勇 (蒲生町長)
平成17年			理事長 山口 喜代治 (竜王町長)
平成20年			理事長 藤澤 直広 (日野町長)
平成25年	維持管理事業計画変更		
	国営事業（国営施設機能保全事業）施行申請 (4月11日)	理事長（85条の3 第1項）	
	国営事業着工		
平成27年	県営事業（県営農業水利施設保全高度化事業） 施行申請 (3月20日)	理事長（85条の3 第1項）	
	県営事業着工		
令和2年	国営事業計画変更		理事長 西田 秀治 (竜王町長)
令和3年	県営事業計画変更		
令和4年	国営事業完工		

